

# 林業ミニ情報 No.141

平成29年5月

- 1 「森と地域の調和を考える会・木の駅プロジェクト美和」活動報告会が開催される ..... 1  
(大子林業指導所　来田)
- 2 「NPO法人エコレン」と県とのコラボによるMY（マイ）箸づくりが実施される！ ..... 3  
(水戸林業指導所　吉成)
- 3 「カスミ共感創造の森」第7回植樹祭が開催実施される！ ..... 4  
(笠間林業指導所　菊池)
- 4 「なめがた大地の春まつり2017」でマイ箸づくりのブースを出展 ..... 5  
(鉢田林業指導所　富田)

## H29.普及ミニ情報(平成 29 年 5 月)

(大子林業指導所 斎田 恭宏)

タイトル	「森と地域の調和を考える会・木の駅プロジェクト美和」活動報告会が開催される
年 月 日	平成 29 年 5 月 31 日 (水)
場 所	常陸大宮市「美和工芸ふれあいセンター」
内 容	<p>森と地域の調和を考える会は、平成 24 年に過疎化の進む常陸大宮市美和地域において、豊かな自然と潜在的な観光資源を掘り起こして、活性化を図ることを目的に設立されました。</p> <p>同会は、主要な取組として「木の駅プロジェクト美和」を展開しており、同プロジェクトは、地域の森林から未利用間伐材等を提供してもらい、対価として地域通貨を発行する仕組みであり、現在までに 2,400 m<sup>3</sup> を収集しているとのことです。収集した間伐材等は、同会の一員である美和木材協同組合でオガ粉に加工する等して活用されています。同プロジェクトは逆ザヤとなっていますが、龍崎会長は、利益を出すことを目的としているのではなく、地域の資源を活用した地域活性化のための取組であり、今後も継続していきたいと話されていました。</p> <p>また、3 年前から地域に 7 か所確認されている中世の城郭跡に着目し、観光の目玉となるよう整備を行っています。現在、高部館（たかぶだて）を皮切りに 2 か所の城郭整備を完了しており、今後行政にも協力を求めながら継続的に整備していく計画です。</p>



龍崎会長の挨拶



報告会の様子

普及成果	<p>龍崎会長は5年間の活動を総括し、「地域活性化は着実に種から芽を出すことはできてはいるが、想定したほどの結果が出ている訳でもない。当会は取組を美和地域以外にも広めようなどと大それたことは考えておらず、あくまでも地域に密着し、今後も地域の活性化を図っていきたい。」と述べられていました。</p> <p>大子林業指導所としても、地域に密着したこの取組を参考にさせていただくとともに、今後とも情報提供や支援を積極的に行っていきたいと考えております。</p>
------	---

## H29.普及ミニ情報(平成 29 年 5 月)

(水戸林業指導所 吉成 浩)

タイトル	「NPO 法人エコレン」と県とのコラボによる MY (マイ) 箸づくりが実施される!
年 月 日	平成 29 年 5 月 14 日 (日)
場 所	ひたちなか市馬渡「国営ひたち海浜公園」水のステージ特設テント
内 容	<p>県内各地で地球温暖化防止活動を行っている「特定非営利活動法人エコレン」とのコラボ第 1 弾である、県産木材を使用したエコ MY (マイ) 箸づくりを、「いばらき都市緑化フェスティバル」の最終日に併せて来園者を対象に実施しました。</p> <p>当日受付として、午前 30 組、午後 30 組の募集枠を設定しましたが、興味を持つ方が多く、募集枠を大きく上回る 108 組の参加者となりました。</p> <p>初めてカンナかけをした参加者が多かったですが、当指導所職員等の指導の下、悪戦苦闘しながらも箸づくりに没頭しました。カンナかけ後、参加者自身が名前などを書いて、エコレン会員から焼きゴテでなぞってもらい、文字通りの MY 箸を作りました。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>参加者の笑顔の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お持ち帰り 3 点セット</p> </div> </div>	
普及成果	<p>参加者からは、「カンナかけが難しかったけれど、だんだんできるようになってうれしい」「木の香りがすごい」「世界に一つしかない自分だけの箸を自慢したい」「今度は、今回来られなかった家族を連れて作りたい」など、様々な声が聞かれました。特に参加者に喜ばれたのは、「MY お箸」、「森林湖沼環境税スタンプ入り箸袋」、「かんなくず」のお持ち帰り 3 点セットで、非常に好評を博しました。</p> <p>今回は、ひたち海浜公園での NPO エコレンとのコラボ第 1 弾でしたが、小中学校に限らず、保育園やその他の施設でのコラボも検討中です。できるだけ多くの皆さんに森林の持つ働きや重要性を認識していただき、地球温暖化防止の一役となる森林の整備の推進につながるよう活動してまいります。</p>

## H29.普及ミニ情報(平成 29 年 5 月)

(笠間林業指導所 菊池 正浩)

タイトル	「カスミ共感創造の森」第 7 回植樹祭が開催実施される!
年 月 日	平成 29 年 5 月 6 日 (土)
場 所	笠間市上郷「愛宕山」
内 容	<p>この森は、いばらき協働の森パートナーズ協定 {株式会社カスミと森林所有者、いばらき森林づくりサポートセンター（公益社団法人茨城県緑化推進機構）の 3 者で締結} に基づき、愛宕山の山林 7 ヘクタールに毎年約 1 ヘクタールの植樹や、保育等を行っています。</p> <p>当日は、株式会社カスミの会長や社長をはじめ、来賓の県議会農林水産委員長、県農林水産部長、笠間市長のほか、ボランティアや緑の少年団、ガールスカウト、笠間市新採職員、カスミ社員など、一般の参加者を含め総勢 710 人が参加し、当指導所職員等の指導の下、ヤマザクラ、コナラ、エンジュ、スギ、ヒノキなど 14 種、約 3,000 本の苗木を植樹しました。</p> <p>また、株式会社カスミの新入社員研修の一環として、男性新入社員は近接するヒノキ林の間伐とこれまでに植樹したヒノキの枝打ち作業も行ないました。</p>
	 
普及成果	<p>参加者からは、「植えるのが楽しかった」「自然の中で体験ができ気持ちが良かった」や、中には昨年も参加されたリピーターもあり「来年もまた参加したい」との声が聞かれました。</p> <p>当林業指導所では、このように環境保全に精力的に取り組む企業活動に対して引き続き支援することで森林整備を推進するとともに、広く一般県民の森林整備に対する意識の醸成を図っていきたいと考えています。</p>

## H29.普及ミニ情報(平成 29 年5月)

(鉢田林業指導所 富田 衣里)

タイトル	「なめがた大地の春まつり 2017」でマイ箸づくりのブースを出展
年 月 日	平成 29 年 4 月 30 日 (日)
場 所	行方市 道の駅「たまつくり」
内 容	<p>行方市の道の駅「たまつくり」において、行方市及びなめがた食彩マーケット会議主催の「なめがた大地の春まつり 2017」が開催されました。</p> <p>この催しにはさつまいも詰め放題や鯉料理の提供などさまざまブースが出展され、鉢田林業指導所では、茨城県産間伐材をカンナで削ってお箸を作る「マイ箸づくり」のブースを出展しました。</p> <p>当日は春らしい陽気となり、会場には多くの家族連れなどが訪れ、マイ箸づくりのブースにも長い行列ができました。カンナで木材を削ったことのない参加者も多く、初めは指導員が参加者にカンナの使い方を説明することから始めましたが、それぞれのマイ箸が完成するころには、黙々と作業に集中する姿が見られ、参加者には木材を削る感触や、削ったときに出る香りを楽しんでいただけたようでした。</p>
	
<p style="text-align: center;">来場者の様子</p>	
	
<p style="text-align: center;">お箸づくり体験指導の様子</p>	
普及成果	<p>当イベントに子どもから大人まで約 130 名の方々が参加し、この箸づくり体験を通して、木材や森林の整備、森林湖沼環境税について多くの方が興味を持たれたようです。</p> <p>当林業指導所では、今後もさまざまなイベント活動を通して、広く県民のみなさまの森林・林業に関する関心を高めていきたいと考えております。</p>